

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
美馬環境整備組合	美馬市・つるぎ町	平成 26 年度～平成 30 年度	平成 26 年度～平成 30 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成24年度)	目標 (割合※1) (令和元年度) A	実績 (割合※1) (令和元年度) B	実績/目 標※2
排出量				
事業系 総排出量	2,348t	2,299t (-2.1%)	2,539t (8.1%)	-385.7%
1 事業所当たりの排出量	1.17t	1.15t (-1.7%)	1.12t (-4.3%)	252.9%
家庭系 総排出量	8,708t	7,861t (-9.7%)	8,032t (-7.8%)	80.4%
1 人当たりの排出量	174.6kg/人	159.5kg/人 (-8.6%)	188.3 kg/人 (7.8%)	90.7%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	11,056t	10,160t (-8.1%)	10,571t (-4.4%)	54.3%
再生利用量				
直接資源化量	1,267t (11.5%)	1,827t (18.0%)	1,012t (9.6%)	-29.2%
総資源化量	1,768t (16.0%)	2,549t (25.1%)	1,547t (14.6%)	-15.4%
熱回収量	熱回収量 (温水利用の熱回収率)	2,510Mh	2,510Mh	
減量化量	中間処理による減量化量	7,965t (72.0%)	6,609t (65.0%)	113.4%
最終処分量	埋立最終処分量	1,323t (12.0%)	1,002t (9.9%)	19.0%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績/目 標※3
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	排出抑制・再資源化の啓発	美馬市・つるぎ町 美馬環境整備組合	PRの強化や説明会などを実施の実施	平成26年度～ 平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに「家庭ごみの分け方、出し方早見表」、「家庭ごみの分け方、出し方ガイドブック」を掲載し全戸にも配布を行った。また「分別の注意事項」等も広報誌に掲載した。 ・中間処理施設の見学者にはごみ処理の状況や排出抑制、再生利用、再資源化(3R)などの啓発を行った。 ・ケーブルテレビで美馬環境整備組合のごみ処理状況を放映し、排出抑制や減量化、分別排出の必要性について協力を求めた。 ・自治会や企業(外国人就労者)に対する、ごみの分け方、出し方について、出前説明会を行った。
	12	住民への協力要請	美馬市・つるぎ町	生活様式の見直しや買物袋の持参等、発生抑制策の協力を要請する。	平成26年度～ 平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・マイバック運動の推進や段ボールコンポストによる生ごみの堆肥化、グリーン購入の意識等、環境負荷の低減に向け啓発を行った。
	13	マイバック運動の実施	美馬市・つるぎ町	商工会議所等の関係機関と協力し、マイバック運動を展開する。	平成26年度～ 平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所と連携し、イベント開催チラシにマイバック運動、ごみ分別やポイ捨て禁止等の啓発を行い環境美化に協力を求めた。
処理体制の構築、変更に関	21	事業系一般廃棄物の排出事業者の減量化計画策定	美馬市・つるぎ町	事業者がごみの減量化計画を策定することでごみの減量化を図る。	平成26年度～ 平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業系一般廃棄物の許可業者を通じ排出事業者に対して、ごみ減量化に向けた排出抑制、資源

するもの						化,分別計画の策定を指導した。
処理施設の整備に関するもの	1	最終処分場再生事業	美馬環境整備組合	不適正最終処分場と指摘された埋設廃棄物を管理型最終処分場において適正処理する	平成26年度～平成30年度	・平成28年度で最終処分場再生事業は終了した。
その他	41	不要品交換会の活性化	美馬市・つるぎ町	不用となった家電製品や家具を必要とする住民へ機会や情報を提供することを検討する。	平成26年度～平成30年度	・社会福祉協議会や消費者協会等がイベント時に実施するフリーマーケットの開催情報の提供を行った。
	42	家電リサイクル法に関する普及啓発	美馬市・つるぎ町	家電リサイクル法による処理体制の普及啓発	平成26年度～平成30年度	・平成29年度より小型家電リサイクルを実施した。 ・パンフレット等で家電リサイクル法対象品及び資源有効利用促進法対象品の処理方法について周知を行った。
	43	不法投棄対策	美馬市・つるぎ町	分別区分の徹底とパトロール強化など	平成26年度～平成30年度	・不法投棄の監視パトロールや分別できていないごみの分別指導等のパトロールを行い、不法投棄箇所へ看板を設置した。
	44	災害時の廃棄物処理体制の整備	美馬市・つるぎ町	地域防災計画等を踏まえた体制整備	平成26年度～平成30年度	・平成28年度に災害廃棄物処理計画を策定し災害廃棄物の処理について体制を整備した。

3 目標の達成状況に関する評価

目標の達成状況については、以下のように評価しています。

目標達成に満たない結果ですが、一般廃棄物処理基本計画に基づく施策の実施に努めるとともに、今後も構成市町と連携し発生抑制と資源化の推進に努め循環型社会形成の構築に努める。

○排出量 (事業系)

総排出量は、目標 2,299 トンに対し実績 2,539 トンで、240 トン超過しており目標を達成することができなかった。高齢化社会に伴い介護施設や福祉施設が増えたことにより持ち込まれる量が増加したことや、コンビニが増えたことで持ち込まれる量が増加した要因と考えられる。

1 事業所当たりの排出量では目標 1.15 トンに対し実績 1.12 トンで目標を達成することができた。

(生活系)

総排出量は、目標 7,861 トンに対し実績 8,032 トンで、171 トン超過しており目標を達成することができなかった。1人当たりの排出量でも目標 159.5 トンに対し実績 188.3 トンで目標を達成することができなかった。

目標を達成することができなかった要因としては、周知啓発活動の推進が足りなかった結果と考える。

○再生利用量

直接資源化量は、目標 1,827 トンに対し実績 1,012 トンで、815 トン減少しており目標を達成することができなかった。

総資源化量は、目標 2,549 トンに対し実績 1,547 トンで、1,002 トン減少しており目標を達成することができなかった。

目標を達成することができなかった要因として、手軽で軽量のプラスチック製容器包装やペットボトル等が普及し重量のあるびん類が減少したこと、紙類は電子媒体への移行が進んだことなども減少している要因であると考えられる。

○熱回収量

目標 2,510MJ/h に対し実績 2,510MJ/h で、目標を達成することができた。

○減量化量

目標 6,609 トンに対し実績 7,794 トンで、目標を達成することができた。

○最終処分量

目標 1,002 トンに対し実績 1,230 トンで、目標を達成することができなかった。排出量が目標を達成できなかったことで中間処理量が増え、焼却処理施設から排出される焼却灰等が増えたことが要因と考える。

(都道府県知事の所見)

ごみ処理については、「事業系総排出量」、「生活系総排出量」及び「1人当たりの排出量」が目標未達成となっている。

事業系総排出量の増加については、事業場数が増えたことが主な要因と考えられるが、今後とも、ごみ減量及び再生利用に向けた啓発活動を拡充していく必要がある。

生活系総排出量は、人口が減少しているにも関わらず増加し、また、1人当たりの排出量も増加していることから、住民に対するごみの分別などの意識醸成等により、ごみの減量化及び資源化につながる行動を促進するなど、目標達成に向けた取組を積極的に進められたい。